

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム報告書

氏名： 秋山 晶子	提出日：平成 23 年 10 月 11 日
東南アジア研究所における職名：特任研究員	
*右記の該当する職位に○をつけて下さい。(講師・助教・助手・ <input type="checkbox"/> ポストドク・博士課程学生・修士課程学生・学部学生)	
派遣先の研究機関等(調査を実施した国名・機関名(日本語で記載)及びカウンターパート名)：	
イギリス・サセックス大学開発学研究所、マイケル・ロビンソン博士	
*派遣先の研究機関等の種類について右記の該当する箇所に○をつけてください。(大学・研究機関・企業・その他)	
派遣先の研究機関等での職名：客員研究員(Visiting Fellow)	
派遣期間：平成 23 年 7 月 20 日～平成 23 年 9 月 20 日(派遣日数：63 日)	
研究活動等の主な内容(該当する番号に○をつけてください。複数可)	
<input type="checkbox"/> ①研究・実験 <input type="checkbox"/> ②フィールドワーク <input type="checkbox"/> ③セミナー <input type="checkbox"/> ④インターンシップ <input type="checkbox"/> ⑤サマースクール等の講習 <input type="checkbox"/> ⑥学会出席 <input type="checkbox"/> ⑦単位取得等 <input type="checkbox"/> ⑧その他	
研究活動の主な領域(該当する番号に1つ○をつけて下さい。)	
<input type="checkbox"/> ①人文学 <input checked="" type="checkbox"/> ②社会科学 <input type="checkbox"/> ③数物系科学 <input type="checkbox"/> ④化学 <input type="checkbox"/> ⑤工学 <input type="checkbox"/> ⑥生物学 <input type="checkbox"/> ⑦農学 <input type="checkbox"/> ⑧医歯薬学 <input type="checkbox"/> ⑨総合領域 <input type="checkbox"/> ⑩複合新領域	
派遣の概要(500～700字程度)	
<p>本派遣の目的は、南インド農村を軸とした有機農産物の生産・流通・消費に関する調査データを整理し、その成果を国際学会誌に向けて発信することである。</p> <p>そのため、英国のサセックス大学開発研究所(Institute of Development Studies, Sussex University)に所属し、農業生態学の専門家であるマイケル・ロビンソン博士の指導の下、7月から9月の2ヵ月間、現地調査のデータの分析と論文の執筆を行った。またあわせて、文献調査や研究所のセミナーへも参加し、新たな理論を加えながら議論を深めていった。</p>	
事業に係る研究成果(500～700字程度)	
<p>前回の派遣では、現地調査におけるデータの分析と文献調査を行い、それをもとに、論文のタイトルを“Organic Agriculture: Boundaries and Practices in Wayanad District, Kerala”と決めた。本派遣中は、さらにその執筆を進め、ドラフトが書きあがった時点で所属機関のIDSにおいてセミナーを実施し、そのフィードバックを加え、最終ドラフトを進めるという行程で研究活動を行った。</p> <p>7月末から8月は所属機関が夏休みに入ったため、セミナーの開催は帰国直前の9月に延期されてしまったものの、それまでにほぼドラフトは仕上がり、あわせて1時間にわたる口頭発表の準備も進めた。9月15日に実施した口頭発表では、インドの研究者、農業生態学の専門家、農村開発の研究者などが集まり、私が提示した有機農業認証の当該地の小規模農民農民に与える影響に関して議論が白熱した。</p> <p>なお、現在は、この時の議論を踏まえ、最終稿をほぼ完成しており、近々投稿を予定している。</p>	